

8 グループ会社紹介：株式会社フューチャーイン

4つの事業による 「新しい価値の創造」にチャレンジ

株式会社フューチャーイン（以下、フューチャーイン）は、「新しい価値の創造にチャレンジ」を企業理念にソフトウェアおよびハードウェアの販売、システム開発からインフラ構築まで、ワンストップでIT サービスを提供している。民需、文教、公共、BPOの4つの事業で、幅広くソリューションを展開し、さまざまな課題解決を行っている。

クラウド黎明期から スタートした「Keep シリーズ」

フューチャーインは、国内クラウドがスタートして間もない2011年から、自社設備でクラウドサービスの提供をスタート。「お互いの顔が見えるクラウドサービス」として、提供者が明確にわかることをコンセプトに「Keep」と名付けられたサービスは着実に顧客数を増やし、今でも多くのお客様にご利用いただいている。その後、よりお客様のニーズに対応するため、自社設備からAmazon Web Services（以下、AWS）の基盤を活用したサービスに転換し、さまざまなソフトウェアを利用できるSaaSや、IT基盤を利用できるIaaSなどのサービスを提供している。

特に「KeepServer」は、AWSクラウドを簡単・安心に活用してもらうために、従来のサーバ機器やネットワーク機器をAWSに置き換え、複雑な手続きや設定をパッケージ化した。そして、従来型のパッケージソフトウェアの利用から、最先端のアプリケーション開発まで、さまざまなシーンでの活用を想定し、手軽にスタートできるサービスとして提供している。

AWSの認定パートナーとして クラウド拡販に注力

フューチャーインは国内9社目の「Amazon EC2 for Microsoft Windows Server デリバリーパートナー」認定を取得（図1）、AWS認定資格を有する技術者は30名を超



株式会社フューチャーイン
プラットフォーム技術部 クラウドサービス課
AWS認定プロフェッショナル
太田 貴久氏

え、大規模な環境構築、クラウド移行にも対応できる体制を整えている。AWSの専門チームにより、多くのお客様の基幹となるWindowsシステムとAWSの双方の視点で独自の付加価値なサービス提供を続けている。



クラウドサービス紹介ページ



- Public Sector
- Solution Provider
- Amazon EC2 for Windows Server Delivery

図1 東海地方でいち早く高度な認定を取得

DX推進における必須テクノロジーとしてのクラウド

最近のDX推進におけるキーワードのひとつが「クラウド・ネイティブ」である。設計段階からクラウドありきで開発をし、運用を行うこと

を意味するが、IT人材が極端に不足している昨今ではこの考え方が注目を集めている。フューチャーインでもこの「クラウド・ネイティブ」を活用して多くのシステム開発を手掛けている。

なかでも自治体の窓口業務に関する課題を当社の技術力で解決したいという想いから開発されたのが手続き案内サービス「nicotto」である。

「市民の窓口のお悩み」を解決するサービス「nicotto」

フューチャーインは、自治体のホームページを更新・管理する自社開発パッケージソフト「TsuNaGo」を展開し、全国で延べ100を超える自治体に導入いただいている。自治体のホームページには、手続きや問い合わせに関する情報が多く掲載されているが、それゆえに、すぐに欲しい情報が手に入らないという不満の声も少なくない。必要な情報をわかりやすく、簡単に伝える方法を検討した結果、新たなサービスとして「nicotto」を開発した(図2)。

さまざまなライフシーンの中で多岐にわたる行政手続きの「わからない」を解消

「nicotto」は、役所の手続きを行う利用者が、どのような手続きを行えばいいのかを案内するサービスだ。高齢者から若者まで、誰でも簡単に分かりやすく操作できるように設計されている。PCやスマートフォンなどから、転入・転出といったカテゴリーを選択。その後、表示される質問に、「はい」・「いいえ」で回答するだけで必要な手続き内容が表示され、さらにそのまま電子申請に



図2 nicotto サンプル画像

誘導する機能も有する。

利用者だけでなく自治体職員の負担も軽減し自治体DXを促進

利用者に対するサービス向上だけでなく、自治体職員の窓口業務における負担も軽減することができる。昨今、職員の人手不足によって業務負担が増加している自治体も多い。また、手続きに悩む利用者が増えることで、窓口の間違いや書類の不備が生じ、対応する職員への負担増加になっている。そのような課題に対しても、このサービスを導入することで自治体側のメリットも感じることができる。

AWSの最新サーバレス技術をフル活用して開発

AWSの技術を活用し、完全サーバレス構成でシステム環境を構築した。従来はアプリケーションごとにサーバを用意し、その中でプログラムを動かしていたが、AWSの各種

サービスを利用し、連携させることでシステムを構成した。サーバレス構成にすることで、耐障害性と高いセキュリティを担保しつつも開発費用を抑え、スピード感を持った提供ができることに加え、使用した分のみ料金が発生する体系により、運用コストを抑えることができる。

さらなる「新しい価値の創造」のチャレンジに向けて

2023年7月現在、「nicotto」はトライアルキャンペーンを実施しており、2024年3月末まで無料で利用ができる。既存のお客様だけでなく、新規のお客様にも自治体窓口向けに開発をし、サービスインしたが、民間企業の社内手続きをはじめ世の中にあふれる各種手続きをこの「nicotto」を活用して簡単で便利にできるのではないかと、可能性を感じている。



nicotto 紹介ページ